

平成24年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月12日

上場会社名 株式会社 ファーストリテイリング

上場取引所 東

コード番号 9983 URL <http://www.fastretailing.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 柳井 正

問合せ先責任者 (役職名) グループ執行役員 CFO (氏名) 岡崎 健

TEL 03-6865-0050

四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第1四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第1四半期	272,688	8.6	48,445	△2.8	48,418	0.5	31,148	37.2
23年8月期第1四半期	250,985	△4.7	49,853	△18.4	48,175	△17.9	22,705	△34.9

(注) 包括利益 24年8月期第1四半期 42,216百万円 (50.4%) 23年8月期第1四半期 28,073百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第1四半期	305.93	305.75
23年8月期第1四半期	223.07	223.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年8月期第1四半期	616,843	353,779	56.3
23年8月期	533,777	319,911	59.0

(参考) 自己資本 24年8月期第1四半期 347,254百万円 23年8月期 314,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	—	95.00	—	85.00	180.00
24年8月期	—	—	—	—	—
24年8月期(予想)	—	115.00	—	115.00	230.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	521,000	13.9	82,500	0.5	80,000	3.0	45,500	9.2	446.87
通期	937,000	14.2	130,500	12.1	125,500	17.2	70,000	28.8	687.49

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) FAST RETAILING (SINGAPORE) PTE. LTD.、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、【添付資料】5ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年8月期1Q	106,073,656 株	23年8月期	106,073,656 株
② 期末自己株式数	24年8月期1Q	4,253,672 株	23年8月期	4,257,643 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年8月期1Q	101,817,993 株	23年8月期1Q	101,784,880 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中でありませ

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景、前提条件等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13
4. 補足情報	14
(1) 部門別売上実績	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年9月1日～平成23年11月30日）におけるわが国の経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響により厳しい状況が続いたものの、緩やかながら持ち直しの動きも見られました。海外経済は、欧米における景気回復の動きは弱く、特に一部の国の財政に対する懸念から景気下ぶれリスクもあり、予断を許さない状況が続いております。また、綿花を中心とした素材価格の上昇、中国における製造コストの上昇など、当社を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高2,726億円（前年同期比8.6%増）、営業利益484億円（同2.8%減）、経常利益484億円（同0.5%増）、四半期純利益311億円（同37.2%増）となりました。営業利益減益の要因は、国内ユニクロ事業の営業利益が減益となったことによります。一方で、円高の進行が一服したことに伴い、為替差損が前年同期比で大幅に減少したことから、経常利益は増益となりました。また、前年同期には会計処理の変更等に伴う特別損失96億円を計上しておりましたが、その負担がなくなったことで、純利益は前年同期比で大幅な増益となっております。

当第1四半期連結累計期間における国内ユニクロ事業の営業利益は376億円、前年同期比10.3%減でしたが、海外ユニクロ事業の業績は好調で、営業利益は同13.3%増の54億円と、連結業績への貢献度は着実に高まっております。グローバルブランド事業の営業利益もジーユー事業及びセオリー事業の業績拡大の寄与により同35.2%増の53億円となりました。

当社グループは、中期ビジョンとして「世界No.1 アパレル製造小売グループとなる」ことを目標に、「グローバル化、グループ化、再ベンチャー化」を進めております。特に海外におけるユニクロ事業の拡大に力を注いでおり、中国・香港、韓国、シンガポール、台湾、マレーシア、タイ、フィリピンといったアジア地区における店舗数の拡大や、世界主要都市におけるグローバル旗艦店の出店により、事業基盤の強化を図っております。また、セオリー事業、ジーユー事業などにおいても積極的に出店を進め、事業の拡大をめざしております。

[国内ユニクロ事業]

国内ユニクロ事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は1,900億円（前年同期比0.2%増）、営業利益は376億円（同10.3%減）でした。第1四半期連結累計期間は気温が高く推移したことで、秋冬販売の動きが鈍く既存店売上高は前年同期比で4.0%の減収となりましたが、国内ユニクロ事業全体の売上高では、期末の直営店舗数が前年同期末比で28店舗増加したことから、同0.2%増収となりました。売上総利益率については、値引率のコントロールを強化いたしました。また、綿花を中心とする素材価格や、中国の製造コストの上昇による原価率の上昇を相殺することができず、前年同期比で2.4ポイント低下いたしました。国内ユニクロ事業の出店につきましては、スクラップ・アンド・ビルドによる店舗の大型化を進めており、第1四半期連結累計期間で大型店舗を14店舗出店し、11月末の国内ユニクロの店舗数はフランチャイズ店22店舗を含み853店舗となりました。

ユニクロの商品開発は、お客様のニーズに応えるべく、素材メーカーとの開発体制をさらに強化しております。ユニクロと東レ株式会社の協働開発で生まれたウルトラライトダウンは、軽さと暖かさを両立した画期的な商品として非常に好調な売れ行きとなっております。ウルトラライトダウンは今秋冬シーズンでは前年に比べて生産量を2.5倍に増やしております。また、ヒートテックについても増産を実施しており、今秋冬シーズンにおけるヒートテックの生産数量は前年の8,000万点から1億点（海外ユニクロでの販売数量を含む）に拡大しております。

[海外ユニクロ事業]

海外ユニクロ事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比59.1%増の426億円、営業利益は同13.3%増の54億円と、大幅な増収増益を達成しました。特にアジア地区における出店は、今第1四半期連結累計期間では37店舗となり、海外ユニクロ事業全体の店舗数は223店舗まで拡大いたしました。中国・香港については第1四半期連結累計期間で25店舗を出店したほか、既存店売上高の二桁増収が続くなど、好調な業績が続いております。台湾ではこの第1四半期連結累計期間で6店舗を出店し、9月には台北にグローバル旗艦店「明曜百貨店」をオープンし、好調な売上となっております。韓国では既存店売上高の二桁増収が続き、大幅な増収増益となっております。11月にソウルにオープンしたグローバル旗艦店「明洞中央店」の売上は好調に推移しております。シンガポール、マレーシアについても順調な業績が続いております。また、2011年9月にタイに1号店をオープンし、大成功を収めることができました。

米国では、10月にニューヨークにグローバル旗艦店「ニューヨーク 5番街店」とメガストア「ニューヨーク 34丁目店」を出店したことで、ユニクロブランドの知名度が飛躍的に向上いたしました。「ニューヨーク 5番街店」は世界に向けてのショーケースと位置付けております。グローバル旗艦店の売上は好調に推移しております。フランスではラ・デファンス店を10月に増床オープンし、順調な業績となっております。英国については販売不振が続き、減収減益となっております。ロシアについては順調な業績となっており、収益性は改善しております。

〔グローバルブランド事業〕

グローバルブランド事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比16.3%増の392億円、営業利益は同35.2%増の53億円となりました。セオリー事業は日米事業ともに好調で、大幅増益を達成しております。ジーユー事業は、第1四半期連結累計期間における既存店増収率が20%強の大幅増収となり、経営の効率化も図れたことから営業利益率が改善し、大幅増益となっております。コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業は、ともに第1四半期連結累計期間の業績はほぼ前年並みとなっております。

〔CSR活動〕

当社グループではCSR活動として、「全商品リサイクル活動」、「ソーシャルビジネス」、「障がい者雇用」、「労働環境モニタリング」、「環境保全」に重点的に取り組んでおります。2006年から開始した「全商品リサイクル活動」による衣料回収点数は、2011年11月末で累計1,200万点を超えました。国内外のユニクロ及びジーユー店舗で回収を実施しております。回収した衣料は、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）などを通じ、世界各地の難民キャンプ等に届けております。また、2010年に立ち上げたバングラデシュでの「ソーシャルビジネス」は、現地のニーズに応じた衣料品の生産から販売までの一貫したプロセスをつくることで、雇用の創出や、購入可能な価格で品質の良い商品を提供することを通じ、貧困・衛生・教育などの社会的課題の解決をめざしています。「障がい者雇用」は、2001年に「ユニクロ各店舗1名以上の障がい者雇用」を目標に取り組みを開始し、現在では約9割の店舗で実施しております。また、パートナー工場の「労働環境モニタリング」では、外部の監査機関のモニタリングで発見した課題を、当社のCSR担当者が直接パートナー工場とともに改善することにより、児童労働や長時間労働、賃金未払いなどの問題がない適正な労働環境の実現を図っております。なお、当社グループでは、2010年から「素材工場向け環境基準」を制定し、環境負荷が高い染色などを行う素材工場にもモニタリングを実施し、環境負荷低減に取り組んでおります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は6,168億円となり、前連結会計年度末に比べ830億円の増加となりました。

これは主として、現金及び預金が445億円増加したこと、受取手形及び売掛金が351億円増加したことによるものです。

負債は2,630億円となり、前連結会計年度末に比べ491億円の増加となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が539億円増加したこと、為替予約が160億円減少したことによるものです。

純資産は3,537億円となり、前連結会計年度末に比べ338億円の増加となりました。これは主として、利益剰余金が222億円増加したこと、繰延ヘッジ損益が94億円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます）は、前連結会計年度末に比べ、327億円増加し、2,348億円となりました。

営業活動による収入は、504億円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益479億円によるものです。

投資活動により支出した金額は、112億円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出89億円、無形固定資産の取得による支出10億円、敷金及び保証金の差入による支出25億円によるものです。

財務活動により支出した金額は、71億円となりました。これは主として、配当金の支払額85億円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績を考慮し、連結売上高・営業利益を以下のとおり修正いたします。

なお、平成23年10月12日付「平成23年8月期 決算短信」で発表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

(第2四半期連結累計期間)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	538,000	86,000	82,000	46,500	456.71
今回修正予想(B)	521,000	82,500	80,000	45,500	446.87
増減額(B-A)	△ 17,000	△ 3,500	△ 2,000	△ 1,000	—
増減率(%)	△ 3.2%	△ 4.1%	△ 2.4%	△ 2.2%	—
前第2四半期連結 累計期間実績	457,325	82,061	77,659	41,668	409.36

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	965,000	135,500	127,500	71,000	697.34
今回修正予想(B)	937,000	130,500	125,500	70,000	687.49
増減額(B-A)	△ 28,000	△ 5,000	△ 2,000	△ 1,000	—
増減率(%)	△ 2.9%	△ 3.7%	△ 1.6%	△ 1.4%	—
前期実績	820,349	116,365	107,090	54,354	533.93

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、FAST RETAILING（SINGAPORE）PTE. LTD. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（追加情報）

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,386	108,963
受取手形及び売掛金	17,796	52,955
有価証券	137,728	125,905
たな卸資産	92,750	101,605
繰延税金資産	31,802	24,498
未取還付法人税等	10,453	10,446
その他	15,361	22,206
貸倒引当金	△307	△258
流動資産合計	369,971	446,323
固定資産		
有形固定資産	58,016	65,416
無形固定資産		
のれん	21,648	20,098
その他	19,102	19,012
無形固定資産合計	40,751	39,110
投資その他の資産	65,038	65,992
固定資産合計	163,806	170,519
資産合計	533,777	616,843
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,395	113,370
短期借入金	3,978	6,526
1年内返済予定の長期借入金	3,243	3,310
未払法人税等	14,721	16,888
為替予約	59,640	43,572
引当金	6,987	2,778
その他	34,878	46,095
流動負債合計	182,846	232,541
固定負債		
長期借入金	13,688	12,396
引当金	63	63
その他	17,268	18,061
固定負債合計	31,020	30,521
負債合計	213,866	263,063

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,273	10,273
資本剰余金	5,223	5,252
利益剰余金	369,717	391,982
自己株式	△16,144	△16,129
株主資本合計	369,070	391,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16,541	△16,420
繰延ヘッジ損益	△35,583	△26,109
為替換算調整勘定	△2,215	△1,594
その他の包括利益累計額合計	△54,339	△44,124
新株予約権	510	1,128
少数株主持分	4,670	5,396
純資産合計	319,911	353,779
負債純資産合計	533,777	616,843

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日)
売上高	250,985	272,688
売上原価	117,577	131,501
売上総利益	133,408	141,186
販売費及び一般管理費	83,554	92,741
営業利益	49,853	48,445
営業外収益		
受取利息及び配当金	76	110
その他	198	438
営業外収益合計	275	548
営業外費用		
支払利息	126	153
為替差損	1,640	180
その他	186	242
営業外費用合計	1,953	575
経常利益	48,175	48,418
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2	—
固定資産売却益	0	5
特別利益合計	2	5
特別損失		
会計処理変更に伴う損失	2,699	—
固定資産臨時償却費	4,050	—
固定資産除却損	110	191
事業整理損失引当金繰入額	800	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,913	—
投資有価証券評価損	—	116
その他	128	149
特別損失合計	10,701	457
税金等調整前四半期純利益	37,477	47,967
法人税、住民税及び事業税	15,455	15,002
法人税等調整額	△1,308	788
法人税等合計	14,146	15,791
少数株主損益調整前四半期純利益	23,330	32,175
少数株主利益	625	1,026
四半期純利益	22,705	31,148

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	23,330	32,175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	191	120
繰延ヘッジ損益	4,494	9,473
為替換算調整勘定	57	446
その他の包括利益合計	4,743	10,040
四半期包括利益	28,073	42,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,370	41,364
少数株主に係る四半期包括利益	703	852

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	37,477	47,967
減価償却費及びその他の償却費	7,524	4,214
のれん償却額	1,648	1,551
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,913	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△56	△14
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	23	0
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△2,158	△4,169
受取利息及び受取配当金	△76	△110
支払利息	126	153
為替差損益 (△は益)	△245	177
固定資産除却損	110	191
売上債権の増減額 (△は増加)	△29,246	△35,294
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,382	△9,382
仕入債務の増減額 (△は減少)	45,891	53,897
その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,611	△6,328
その他の負債の増減額 (△は減少)	7,437	11,277
その他	599	△1,365
小計	65,972	62,764
利息及び配当金の受取額	76	115
利息の支払額	△141	△116
法人税等の支払額	△30,512	△12,338
その他の支出	△5	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,391	50,425
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	1,464	—
有形固定資産の取得による支出	△5,570	△8,931
有形固定資産の売却による収入	1	47
無形固定資産の取得による支出	△4,191	△1,018
敷金及び保証金の差入による支出	△1,888	△2,584
敷金及び保証金の回収による収入	528	693
建設協力金の支払による支出	△320	△86
建設協力金の回収による収入	507	480
預り保証金の受入による収入	57	32
預り保証金の返還による支出	△172	△75
その他	444	190
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,139	△11,251

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△674	2,592
長期借入金の返済による支出	△515	△559
配当金の支払額	△11,480	△8,566
リース債務の返済による支出	△431	△478
その他	—	△178
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,101	△7,190
現金及び現金同等物に係る換算差額	265	196
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	13,414	32,179
現金及び現金同等物の期首残高	200,462	202,104
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	427	574
現金及び現金同等物の四半期末残高	214,304	234,858

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年9月1日至平成22年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	国内ユニクロ 事業	海外ユニクロ 事業	グローバル ブランド 事業				
売上高	189,738	26,827	33,778	250,344	641	—	250,985
セグメント 利益	42,005	4,839	3,980	50,825	△35	△936	49,853

(注) 1 「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。

2 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していないのれん償却額△1,648百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	その他 (注2)	調整額 (注3)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注4)
	国内ユニクロ 事業	海外ユニクロ 事業	グローバル ブランド事業 (注1)				
売上高	190,054	42,693	39,277	272,025	662	—	272,688
セグメント 利益	37,665	5,485	5,380	48,531	7	△93	48,445

(注) 1 従来よりグローバルブランド事業に含まれていたキャビン事業は、2011年2月に事業休止したことにより、当第1四半期連結累計期間には含まれておりません。

2 「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。

3 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していないのれん償却額△1,551百万円が含まれております。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
- (7) 重要な後発事象
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 部門別売上実績

部門	前年同四半期 (自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日)		(参考) 平成23年8月期	
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)
メンズ	77,183	30.8	79,577	29.2	255,081	31.1
ウィメンズ	89,061	35.5	89,676	32.9	275,791	33.6
キッズ・ベビー	11,147	4.4	10,961	4.0	31,813	3.9
グッズ・その他	8,745	3.5	5,945	2.2	26,799	3.3
国内ユニクロ商品売上合計	186,136	74.2	186,160	68.3	589,486	71.9
F C 関連収入・補正費売上高	3,601	1.4	3,893	1.4	10,661	1.3
国内ユニクロ事業合計	189,738	75.6	190,054	69.7	600,148	73.2
海外ユニクロ事業	26,827	10.7	42,693	15.7	93,717	11.4
ユニクロ事業合計	216,565	86.3	232,747	85.4	693,866	84.6
グローバルブランド事業	33,778	13.5	39,277	14.4	124,065	15.1
その他事業	641	0.2	662	0.2	2,417	0.3
合計	250,985	100.0	272,688	100.0	820,349	100.0

(注) 1 F C 関連収入とは、フランチャイズ店に対する商品売上高、フランチャイズ店からのロイヤリティ収入であり、補正費売上高とは、パンツの裾上げ(補正)の加工賃及び刺繍プリントによる収入等であります。

2 ユニクロ事業とは、「ユニクロ」ブランドのカジュアル衣料品販売事業であります。

3 グローバルブランド事業は、コントワー・デ・コトニエ事業(「COMPTOIR DES COTONNIERS (コントワー・デ・コトニエ)」ブランドの国内・海外における衣料品販売事業)、プリンセス タム・タム事業(「PRINCESSE TAM. TAM (プリンセス タム・タム)」ブランドの欧州における衣料品販売事業)、ジーユー事業(「ジーユー」ブランドの衣料品販売事業)及びセオリー事業(「Theory (セオリー)」、「Helmut Lang (ヘルムート・ラング)」、「PLST (プラステ)」ブランド等の国内・海外における衣料品販売事業)で構成されております。

4 その他事業とは、不動産賃貸業等であります。

5 従来よりグローバルブランド事業に含まれていたキャビン事業は、2011年2月に事業休止したことにより、当第1四半期連結累計期間には含まれておりません。また、国内ユニクロ事業の一部を構成しておりました靴事業は、2011年8月に靴専門店を閉店したことにより、グッズ・その他の項目に含まれておりません。

6 上記金額には、消費税等は含まれておりません。